



多磨寺跡出土瓦

古代  
た  
ま  
の  
寺  
と  
み  
ほ  
と  
け

2025年

1月25日 [土] - 3月9日 [日]

[休館日] 1月27日(月) [会 場] 本館1階 特別展示室 [開館時間] 9:00~17:00(入場は16:00まで)

[観覧料] 博物館入場料でご覧いただけます(大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料)

主催:府中市郷土の森博物館運営グループ(公益財団法人府中文化振興財団・株式会社五藤光学研究所)



6世紀に日本列島へ伝来した仏教。寺院の建立は周辺の景観に変化をもたらし、みほとけの教えは人びとの生活や死生観に影響を与えました。

「たま」(古代武蔵国の<sup>むさしのくに</sup>多磨郡)では、7世紀末から8世紀初頭の間に建立された「多磨寺」、8世紀中頃創建の「武蔵国分寺」が仏教受容と展開の中心的役割を担いました。さらに、小規模な仏堂跡などの遺構、瓦塔や仏鉢形土器などの遺物、奈良時代以降の火葬墓が各地で確認されています。これら発掘調査で見つかった仏教に関わる遺構や遺物は、「たま」に大小さまざまないのりの場があったことを示しています。

本展では「たま」における発掘調査成果を中心に、仏教が広まっていった過程を探ります。「たま」に伝わるみほとけとして、深大寺に伝わる白鳳仏の御身代わりも展示します。



武蔵国分寺創建期の軒先瓦  
(武蔵国分寺跡／国分寺市教育委員会・  
日本考古学協会所蔵)



密教系法具の鐘鈴  
(打越小ザス遺跡／  
八王子市教育委員会所蔵)



火葬骨が納められた壺と石櫃  
(昭島市玉川町／昭島市教育委員会所蔵)  
東京都指定文化財 ※石櫃は複製



仏鉢の形をした須恵器  
(武蔵国府関連遺跡／東京都教育委員会所蔵)



## 展示構成

### 1. 古代たまをとらえる

- 1-1 たまの位置と表記
- 1-2 たまの郷

### 2. たまに仏教伝来

- 2-1 寺院建立前夜のたま
- 2-2 東京最古の寺院・多磨寺

### 3. 国の華たる国分寺

- 3-1 造塔の寺、建つ
- 3-2 荘厳な国分寺
- 3-3 雷火、そして再建

### 4. たまに広まる仏の教え

- 4-1 点在する瓦葺き堂
- 4-2 小規模な信仰の場
- 4-3 弔いにみる仏教
- 4-4 国府のマチでの仏教信仰

### 5. 古代から中世へ

- 5-1 中世初期の仏教関連遺跡
- 5-2 末法思想と経塚

## 関連講演会

### ①「国府のなかの寺と堂」

日時: 2025年2月23日(日・祝) 14:00~16:00

講師: 深澤 靖幸(当館館長)

平安時代末期の経筒と外容器の壺  
(多摩ニュータウンNo.650遺跡／  
東京都教育委員会所蔵)

### ②「国分寺造営前後の仏教受容ー多磨郡内を中心にー」

日時: 2025年3月1日(土) 14:00~16:00

講師: 依田 亮一氏(国分寺市教育委員会 市史編さん室長)

会場: 本館1階 大会議室 定員: 各80人

参加費: 各300円(博物館入場料が別に必要です)

#### 申込方法

●往復はがきの場合: 氏名、住所、電話番号、参加希望講演(2講演同時申込み可)、  
返信用宛名を明記のうえ下記へお送りください。

宛先: 〒183-0026 府中市南町6-32

府中市郷土の森博物館 特別展講演会係

●応募フォームの場合: 2次元コードから本展紹介ページにアクセスし、  
専用フォームからお申し込みください。

締切: 2/3(月) はがきは当日消印有効、応募多数の場合は抽選

## 展示解説

日時: 2025年2月2日(日)、2月11日(火・祝)、3月8日(土) 13:30~  
博物館入場料のみで当日自由に参加できます

#### アクセス

##### 【路線バス】

京王線・JR南武線「分倍河原駅」南側駅前ロータリーから「郷土の森総合体育館」行きバス約6分  
「郷土の森正門前」下車すぐ

##### 【府中コミュニティバス(ちゅうバス)】

●京王線・JR南武線「分倍河原駅」または京王線「府中駅」から南町・四谷循環バス「よつや苑西」行き  
「南町二丁目」下車徒歩約6分

●京王線「中原駅」から南町・四谷循環バス「府中駅」行き「芝間稲荷神社」下車徒歩約6分

##### 【徒歩】

京王線・JR南武線「分倍河原駅」、JR武蔵野線・南武線「府中本町駅」、西武多摩川線「是政駅」より約20分

